

平成30年3月1日発行

社会福祉法人

能美市社会福祉協議会広報誌

視覚に障がいのある方等で、広報誌の音訳テープを聞いてみたいと思われる方は、社会福祉協議会までお知らせ下さい。

社会福祉のみ

第51号

ほほえみ

春まちぽかぽかプロジェクト開催中!!

気持ちが温くなる地域福祉の活動に気軽に参加してみませんか！



プログラム⑩「子ども食堂で地域のひととひとの縁をつなぐ」
研修会の様子（H30.2.12 辰口福祉会館）



目次

- 2P 春まちぽかぽかプロジェクト／「我が事・丸ごと」について
- 3P 能美市民防災ネットワーク研修会／
社協トピックス！地域の絆を再確認！！
- 4P 心配ごと相談員研修会／ライフサポーター修了式
- 5P 地域福祉委員会特集／歳末お見舞金贈呈事業
- 6P 相談日のお知らせ／会員会費御礼／寄付御礼／
これからの予定
- 7～8P 能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センターだより

社会福祉協議会の事業に対するご意見やご要望をお気軽にお寄せ下さい。

春まちぽかぽか
プロジェクト



地域福祉推進のマスコット
のみんちゃん

第2次能美市地域福祉活動計画最終5年
目の報告会として、春まちぽかぽかプロ
ジェクト(2/3～3/4)を開催
中です。最終日の3月4日(日)
13:30からは「能美たすかつ
たわ～大賞」と能美ぽかぽか
フォトコンテストの表彰式が
行われます。どなたでもお気
軽にご参加ください！

春まちぽがぽがプロジェクト開催!!

今年度の春まちぽがぽがプロジェクトが、2月3日(土) オープニングプログラム①「私たちが取り組む我が事・丸ごとを理解しよう!」を皮切りに、30日間の幕を開けました。寺井地区公民館には120名近くが集いました。

講師には、同志社大学社会学部社会福祉学科 永田 祐准教授をお招きし、支え合いができる地域づくりⅡ「地域共生社会」を実現するためには地域において、知り合い、共感する事をキーワードとして、一人ひとりが役割を持つことが生きがいとなり、互いに気に掛けあい「助け合い」を進めていくことが大切であることについて理解を深めました。

また、市健康福祉部福祉課 南課長補佐からは、市が受けることとなった厚生労働省の「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業」の概要について説明があり、市民も専門職も行政も皆が力を出し合う体制をつくる事が必要と言われました。

最後に、能美市社会福祉協議会 常務理事兼事務局次長 新川が、これまで社会福祉協議会が進めてきた「助け合いの地域づくり」・各町(内)会で設置している「地域福祉委員会」での活動Ⅱ住民同士が個別の

課題を自分達の事として解決に向けて話し合いを進めているこの活動こそが地域づくりの基盤であり、何か新しいことに取り組むのではなく、地域福祉委員会活動のさらなる活性化をめざしていくことを説明しました。参加された方々はより理解を深められた様子でした。



同志社大学 永田祐准教授による基調講演の様子

能美市社会福祉協議会が取り組む「我が事・丸ごと」の事業体制について

地域共生社会の実現に向けて能美市から委託を受け、平成29年8月より地域力強化推進事業として『能美市「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業』と、多機関協働による包括的支援体制構築事業として『総合的な相談支援体制構築事業』を実施しています。

①『能美市「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業』は、市内全町(内)会に設置されている地域福祉委員会の活動状況の把握と、そこから見えてくる地域課題の解決策を探ることを目的としています。各地域福祉委員会へ社協職員が出向き、地域課題をあぶり出すとともに、問題の早期発見を通じて地域での支援活動へつなげるしくみを確立していきます。

②『総合的な相談支援体制構築事業』は、「寺井あんしん相談センター」に相談支援包括化推進員を設置し、高齢者・障がいを持つ方・生活困窮等、多様な問題を抱える方々の相談・支援をワンストップで行う体制を整えており、事例に応じて就労・住まい・児童・教育・医療・保健等の多機関との連携を進めます。事業を進めるにあたり社会福祉協議会だからこそその強みを活かし、必要に応じて地域福祉委員会との連携を図り、継続的な地域支援へとつなげます。

この積み重ねが地域の力の向上につながることから、この2つの事業連携が肝要であり、社会福祉協議会の機能強化を図るため組織体制を整えて事業を推進していきます。

能美市民防災ネットワーク研修会

避難所の運営をゲームを用いて

体験してみよう

2月4日(日)、寺井地区公民館大ホールにおいて、災害時における「避難所」の運営について、元輪島市社会福祉協議会 参事 七尾幸子氏を講師に、避難所の機能や運営を学びました。参加者は避難所運営ゲーム(HUG(ハグ))「HUGという意味はH(hinanzo 避難所)、U(une i 運営)、G(game ゲーム)の頭文字で、さらに英語で「抱きしめる」の訳」を用いて疑似体験をしました。

このゲームは、避難所運営を皆で考えるためのアプローチとして開発されたもので、避難所運営で起きる様々な出来事を知り、災害時における要援護者への細かな配慮点を考え、判断をするという訓練ができます。被災直後から避難所には、被災者が続々と避難してくることから、的確な判断力とスピードが必要です。参加者はプライバシーの配慮・スペースの配置・資材の分配・日頃のコミュニティへの参加状態の把握など、配慮点をゲーム上で理解することができました。

会場では熱い議論が飛び交い、大変に盛り上がりました。



講師の七尾氏は「助けられた人は助ける人になる」と強く訴えられました



避難所運営ゲームを行っている様子

地域の絆を

再確認!!

心も
ぽかぽか!



2月6日～8日の大雪により、能美市内でもいたるところで交通マヒが発生し、市民生活に影響が及びました。

そんな中、地域の民生委員児童委員によって、一人暮らし高齢者等要援護者宅の生活状況の聞き取り調査が行われました。

また、町(内)会による一斉除雪や生活支援等も行われ、社協職員も民生委員児童委員と連携し、一人暮らし高齢者宅等の支援を行いました。

2月10日・12日の三連休には、ボランティアも除雪作業に加わり、また、隣近所が助け合って除雪に励む様子も見られ、こんな時こそ身近な地域での助け合いが大切なのだと、改めて感じました。



→
高齢者世帯の住宅前を除雪しているボランティア
(東レ(株)石川工場)



←
小学校内通路を除雪しているボランティア
(株)コマニーソフトボール部



→
一人暮らし高齢者宅の玄関前を除雪に取り組む社協職員

心配ごと相談員研修会開催しました！

1月30日(火)、寺井ふれあいプラザにおいて心配ごと相談所の相談員研修会が開催され、民生委員児童委員、人権擁護委員、行政相談員の20名が参加しました。

研修会は、小松市の出口法律事務所杉本昌之弁護士による「多重債務問題の解消方法」の講演と事例紹介がありました。

講演では、債務整理の方法には3つあり、任意整理・個人再生・自己破産があることや、債務者の収入や事情にあった解決方法で債務整理の手続きを行うことなどを分かりやすく説明して頂きました。



研修の様子

*心配ごと相談所とは？

根上、寺井、辰口の各地区ごとに、それぞれ民生委員・児童委員4名、人権擁護委員4名、行政相談員1名の9名を相談員として委嘱し相談所を開設しており、市民の皆様の心配ごと相談を受けています。

*人権擁護委員とは？

法務省から委嘱され、人権に関する相談、人権啓発活動、セクハラなどの相談を行っています。

*行政相談員とは？

総務省から委嘱され、行政サービスに関する苦情、行政の仕組みや手続きに関する問合せなどの相談を受け、その助言や関係行政機関に対する通知などを行っています。



コミュニケーション方法を学ぶ講座の様子



伴場市社協会長から修了証を受け取ります

たすけあい・ライフサポーター 活動支援講座〈第4期〉修了式

が行われました！

住民の力を地域での活動に活かし、高齢者の日常生活上の困りごとを助け合う担い手を養成する「たすけあい・ライフサポーター活動支援講座」第4期の修了式が、1月25日(木)、ふれあいプラザにて行われました。講座を受講された方々は、3日間の座学と実際に地域に出向いての実習を行い、今回の第4期では5名が修了されました。

修了生は、今後地域での介護予防や自立した日常生活を支援する訪問型サービスB（住民主体の担い手による生活支援）のライフサポーターに登録し、活動していく予定です。

またフォローアップとして、講座修了生で立ち上げた「たすけあい・ライフサポーターえがお会」に加入し、情報交換や研修会に参加していきます。

粟生町地域福祉委員会

粟生町の現在の世帯数は628世帯になりました。近年、街の外周部に宅地造成が進み、家の跡取りの子どもたちも新しい宅地エリアに家を建てて、離れていきました。その結果、老夫婦二人の世帯が多くなりました。家に籠りっぱなしにならないように、皆と一緒に集い、ストレスを解消しようという願いを込めて、平成21年3月に粟生町地域福祉委員会が発足しました。『粟生町地域福祉委員会』として、以下の目標を掲げて活動しています。

1. 地域福祉への取り組み

♥地域福祉は、同じ地域に住む幅広い年代の人たちが、お互いにサービスをし合い、助け合う事によって気持ちが穏やかになり、皆と話し合う事によってストレスが発散でき、心身共に和やかな状態になれる事が目標であり、そのような和やかな状態になれるような【場所】を提供する事が、活動の第一歩だと思っています。

2. 地域福祉委員会の活動の目的
♥本会は粟生町住民の見守り、支えあいの体制の構築に向けての生

活課題に取り組み、住民が安全で、安心して暮らせる体制作りを検討し、実践することを目的としています。

- ①『福祉見守りあんしんマップ』を作成し、支援を必要とする人の見守り体制の確立。
- ②隣近所の助け合い、支え合いなどの個別の支援体制による、細やかなサポート。
- ③高齢者間のふれあいの場を提供し、友達づくり、生きがいづくりを促進、支援する。

3. 要支援者の情報交換とアップローチ

♥地域福祉委員会が隔月毎に開催され、町の状況を確認しあい、高齢者たちの情報交換を行い、それらの情報を元に家庭訪問をし、話を聞き、状況の把握、見守りを行います。

4. 地域福祉委員会の活動事業

◇委員会の会合 ◇高齢者昼食会
◇お出かけサロン小旅行 ◇会報だよりの発行◇毎月のいきいきサロンの開催（雛飾り作り、二胡の演奏会、アロマハンドマッサージ、ちぎり絵作り、避難防災講座、

排尿トラブル改善方法、マジックショー、笑いヨガ、オカリナ演奏会、クリスマスリース作り

5. 地域福祉委員会の活動目標

♥粟生町として目標としていることは、幅広い年代の人たちへの思いやりの支援と、弱い立場の高齢者、障がい者、小さい子どもたちへの福祉対策を優先して実行することです。そのことが人にやさしい地域福祉になることを目指して、日々努力したいと考えています。

粟生町地域福祉委員会

委員長 重田 勝年



高齢者昼食会演出出し物の様子（粟生じょんがら）

歳末お見舞い金を贈呈しました

12月1日から全国一斉に始まった「歳末たすけあい募金運動」で寄せられた皆様の温かい気持ちは、民生委員・児童委員の協力を得て、新しい年を迎える時期に支援を必要とされる方々（能美市在住者、能美市出身の福祉施設入所者等）が地域で安心して暮らすことが出来るように「歳末お見舞い金」として届けられました。

12月11日（月）、12日（火）に施設入所者31施設97名に、また年末までに在宅対象者211名に言葉を交わしながらお見舞い金とともに温かい心も届けてきました。

事前に連絡を受けていた入所者の中には、訪問を待つておられた方もいて「いつもありがとうございます!!助かります。」と笑顔で感謝を述べられていました。



福祉施設に入所されている方へお届けしました



能美市民生委員児童委員協議会での出発式の様子（辰口地区）

相談日のお知らせ

(平成30年3月～平成30年5月分)

気軽にお問い合わせ下さい！



● 弁護士無料法律相談

要予約

午後1時30分～午後3時30分

相談日	開催場所
3月 8日(木)、20日(火)	ふれあいプラザ
4月10日(火)、23日(月)	
5月15日(火)、28日(月)	

● 行政書士無料相談

要予約

午後1時30分～午後3時30分

相談日	開催場所
3月22日(木)	ふれあいプラザ
5月17日(木)	

※弁護士無料法律相談・行政書士無料相談については、時間は1人およそ30分、1日4名迄です。(問合せ ☎58-6200)

● 行政書士無料特別講習会

午後1時30分～午後3時30分

相談日	開催場所	テーマ
4月12日(木)	ふれあいプラザ	終活講座①「エンディングノートを書いてみよう」

※講習会後に、テーマに基づいた個別相談も開催します。(問合せ：☎58-6200)

● 心配ごと相談

午後1時30分～午後3時30分

地区	開催日	開催場所	問合せ
根上地区	毎月25日	根上窓口センター	(☎58-6200)
寺井地区	毎月 5日	寺井地区公民館	
辰口地区	毎月15日	辰口福祉会館	

※根上地区 2月の開催日は26日(月)となります。 寺井地区 2月の開催日は6日(火)となります。

● 親子サロン (ママ友相談)

地区	開催日	開催場所	開催時間
根上地区	毎週 水曜日	根上北部児童センター	午前9時30分～午後1時30分
寺井地区	毎週 木曜日	栗生コミュニティセンター	
辰口地区	毎週 火曜日	岩内コミュニティセンター	

※お休み 根上地区：3月21日 寺井地区：3月29日

● ほっとあんしんサロン

午後1時30分～午後3時30分

開催日	開催場所	問合せ
3月14日(水)	ふれあいプラザ	(☎58-6200)
4月11日(水)		
5月 9日(水)		

※高齢期を迎えての健康や、暮らし方の不安、また介護をしている心の悩みなど、日頃の思いを気軽に語り合いませんか。「能美市介護を考える会」会員がスタッフとしてお待ちしております。どなたでも、お気軽にご参加下さい。

平成29年度

能美市社会福祉協議会会員会費

皆様のあたたかいご理解とご協力、ありがとうございました。

組織・団体・企業からの会費納入一覧 (敬称略)

※ほぼえみ第50号記載以降の納入分

正会員	福祉ボランティア チーム20 くるま工房メイテック (出口町)
賛助会員	(株)そうごう (栗生町) (株)コムレイド (小松市) (株)石川コンピュータ・センター (金沢市)

最終報告 (平成29年12月31日)

正会員	個人会員	817人	817,000円
	組織・団体・法人会員	73社	448,000円
賛助会員	個人	3,602人	1,980,800円
	団体・企業	256社	810,000円
		合計	4,055,800円

寄付御礼

平成29年11月16日～
(敬称略) 平成30年2月14日

ありがとうございました

- ・栗生町五五厄年一同 (栗生町)
- ・本多 真哉 (小長野町)
- ・東レ(株)石川工場 (北市町)
- ・今立 ツヤ子 (吉光町)



これからの予定

平成30年3月

2月3日(土) ～3月4日(日)	よろっさ やろっさ つなごっさ！ 春まち ぼかぽか プロジェクト
3月12日(月)	能美市共同募金運営委員会・審査委員会 会場/ふれあいプラザ
3月下旬	理事会・評議員会 会場/ふれあいプラザ 第3次能美市地域活動計画策定検討会策定委員会 会場/ふれあいプラザ

2

情報

ボランティア保険新規加入・更新のご案内

ボランティア活動中の事故やけがを保障するボランティアの活動保険として、能美市ボランティアコミュニティ活動支援センターに登録する方を対象に、全国社会福祉協議会の団体保険に加入します。掛け金は能美市社会福祉協議会が助成しています。

平成30年度の新規加入・更新手続き申請は、平成30年3月12日(月)までに能美市社会福祉協議会へお申し込みください。

対象活動…日本国内における自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動

補償金額…基本Aプラン（死亡保険金 後遺障害保険金1,040万円、通院保険6,500円）

補償期間…平成30年4月1日～平成31年3月31日まで

支払い対象の主な活動

- (1) 傷害保険（ボランティアがボランティア活動中の急激かつ偶発な外来の事故）
- (2) 賠償事故（ボランティアが活動中に発生した偶然な事故により、他人にケガをさせたり、物を壊したりしたことにより、法律上の損害賠償責任を負われた場合）

ボランティア活動保険について詳しく知りたい方はボランティアコミュニティ活動支援センター（☎58-6200）までお問い合わせください。

3

情報

福祉やボランティアに関する出前講座のお知らせ

能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センターでは、福祉やボランティア活動についての出前講座を行い、地域の中での支え合いや身近で出来るボランティア活動の大切さを多くの方々に知ってもらえるように日々取り組んでいます。団体や町会などでボランティア活動や、福祉についての理解を深めたい時は気軽にセンターへお声掛け下さい！



多くの方のお申込み
お待ちしております

プルタブ情報

持ち込み場所

能美市社会福祉協議会（ふれあいプラザ）、白寿会館、亀齢荘、辰口高齢者支援センターに収集ボックスを設置しています。

いつも多くの団体や個人の皆さんからご協力をいただき、誠にありがとうございます。

H29.12月～H30.2月の期間、プルタブの収集にご協力下さった方々を一部紹介します。

長野保育園0.4kg、湯野保育園1kg、宮竹小学校78kg、緑が丘保育園3kg（敬称略・順不同）



さあ、あなたも自分にできることを！

こちらからは能美市ボランティア・コミュニティ活動支援センターだより

通称：「ボランティアセンター」だより

最新ボランティア登録数
(H.30.2.1 現在)
3,921人 (個人も含め)
95グループ

こちら側からの2ページは、ボランティアに関する活動報告や、“知って得する、役立つ”情報を掲載しています。皆様からのご質問にもお答えしますので、どんどんホットな情報やお声をお寄せください。

1

情報

ジュニアボランティアクラブ活動の報告



12月2日の振り返り会をもって、市内施設でのボランティア体験や、ボランティア団体の指導による福祉体験、イベント等でのボランティア体験全9コースの活動が終了しました。参加者の方は、体験を通して施設でのボランティア活動の意義や、自分達の身近でボランティア活動がされていることを学びました。様々な人との関わり合いの必要性や思いやりのある行動、自分達ができるボランティアを地域の中で取り組んでいく意欲を高めました。最後の振り返り会では、体験して感じたことを参加者同士で発表し合い、ボランティアに対する考えを共有しました。

感想

- ・恥ずかしかったけど、楽しくできました。
- ・みんな楽しんでいたから私も楽しめたので良かったです。
- ・手話はとても難しいと思っていたけど、やってみると、とても楽しく、もっと学びたいとおもいました
- ・接する機会が普段全くないので親の私も参加して良かったです。
- ・多くの方と楽しい事を共有する事はとても素敵なことでした。
- ・初めて募金活動に参加し、皆さんから気持ちを頂くありがたさを感じ、とても良い機会になりました。ありがとうございました。
- ・体験してみないと分からない事がたくさんあった。



施設での体験



ボランティアの方との活動



イベントでの活動



社会福祉法人 能美市社会福祉協議会

✉ nomi@nomi-shakyo.jp
ホームページ <http://www.nomi-shakyo.jp>

〒923-1121 石川県能美市寺井町た8番地1 能美市ふれあいプラザ 2階

- 法人事務局
- ボランティア・コミュニティ活動支援センター

(☎ 0761-58-6200 FAX 0761-58-6250)

☎ 0761-58-6200 FAX 0761-58-6250
ホームページ <http://nomi-vc.net>

- ファミリー・サポート・センター
- ヘルパーステーション能美
- 能美居宅介護支援事業所
- 寺井あんしん相談センター

(☎ 0761-58-6230 FAX 0761-58-6250)
(☎ 0761-58-6603 FAX 0761-58-6733)
(☎ 0761-58-6005 FAX 0761-58-6733)
(☎ 0761-58-6117 FAX 0761-58-6733)